

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出願年月日 2003年 6月30日
Date of Application:

出願番号 実願2003-003909
Application Number:

[ST. 10/C]: [JP 2003-003909 U]

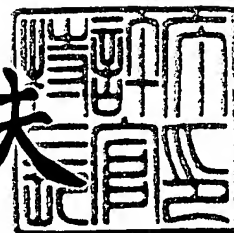
出願人 幸成光株式会社
Applicant(s):

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2003年 9月30日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今井康夫



【書類名】 実用新案登録願
【整理番号】 G0854H04
【あて先】 特許庁長官 太 田 信 一 郎 殿
【国際特許分類】 A47F 3/28
C02F 1/00

【考案者】

【住所又は居所】 東京都千代田区麴町 1 丁目 5 番 4 - 3 1 0 号 幸成光株
式会社内

【氏名】 市 毛 東 吉

【実用新案登録出願人】

【識別番号】 302012682

【氏名又は名称】 幸成光株式会社

【代理人】

【識別番号】 110000051

【氏名又は名称】 特許業務法人共生国際特許事務所

【代表者】 瀬 谷 徹

【納付年分】 第 1 年分から第 3 年分

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 145437

【納付金額】 49,400円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【考案の名称】 シャワーヘッド

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 給湯・給水部からのホースに接続されるシャワーヘッドであって、基端側を前記ホースに接続する筒状のグリップと、このグリップの先端側にあるシャワー生成ヘッドと、前記グリップ内に着脱可能に装填されるカートリッジとから構成され、前記カートリッジには、少なくとも、遠赤外線を放射するセラミックスが充填してあって、ホースを介して供給される湯・水がグリップから前記シャワー生成ヘッドに至る過程で、前記カートリッジを通し、前記遠赤外線により水分子を活化化することを特徴とするシャワーヘッド。

【請求項2】 前記シャワー生成ヘッドは、前記グリップの先端側で着脱可能に接続される構造であり、この接続個所から前記グリップ内に前記カートリッジを装填するように構成したことを特徴とする請求項1に記載のシャワーヘッドの構造。

【請求項3】 給湯・給水部にジョイント部材を介して接続されるシャワーヘッドであって、基端側を前記ジョイント部材に接続する取付具と、該取付具の先端側に、角度自在に取り付けたシャワー生成ヘッドと、該シャワー生成ヘッド内に設けたカートリッジとから構成され、該カートリッジには、少なくとも、遠赤外線を放射するセラミックスが充填してあって、前記ジョイント部材を介して供給する湯・水を前記カートリッジに通し、前記遠赤外線により水分子を活化化することを特徴とするシャワーヘッド。

【請求項4】 給湯・給水部にジョイント部材を介して接続されるシャワーヘッドであって、基端側を前記ジョイント部材にネジで接続するためのネジ切り部を備えて形成したシャワー生成ヘッドと、該シャワー生成ヘッドの放水面側で、前記シャワー生成ヘッドから突出させて装着したカートリッジと、該カートリッジを被うキャップと、から構成され、該カートリッジには、少なくとも、遠赤外線を放射するセラミックスが充填してあって、前記ジョイント部材を介して供給する湯・水を前記カートリッジに通し、前記遠赤外線により水分子を活化化することを特徴とするシャワーヘッド。

【請求項 5】 前記シャワー生成ヘッドの放水面から放水される湯・水は、その状態が噴霧状態を含み、多段式に放水量が切替えられるように形成され、その切替えを行なう操作手段が、前記放水面の外周壁に設けられていることを特徴とする請求項 1 ないし 4 のいずれか 1 項に記載のシャワーヘッド。

【請求項 6】 前記カートリッジは、前記グリップ内に直列に配置される複数のカートリッジからなり、少なくとも、一方のカートリッジには、遠赤外線により水分子のクラスターを小さくする活水用セラミックス粒子が、他方のカートリッジには、湯・水に含まれる残留塩素を低減するためのセラミックス粒子が、それぞれ、充填されていることを特徴とする請求項 1 ないし 5 のいずれか 1 項に記載のシャワーヘッド。

【考案の詳細な説明】

【0001】

【考案の属する技術分野】

本考案は、給湯・給水部からのホースに接続され、供給された湯水を活水化した上で、そのシャワーを浴びることができるように用いられるシャワーヘッドに関する。

【0002】

【従来の技術】

シャワーを浴びる際に利用される通常のシャワーヘッドには、放出される湯・水の量や勢いが調節されるように、切替えレバーやプッシュボタンが設けられている。また、水道水から塩素を除去するために、塩素除去部材をシャワーヘッド内に収納した構成もある。シャワーヘッドから放出される水道水などの質を向上させるために、特開 2001-173050 号公報に示された浴用浄水器は、家庭で浴用に使用する水を浄活水化する据置型の浄水器である。その構成は、給水管を連結している浴槽給水口、給水ホース連結しているシャワー給水口、注水ホースを介して連結している注水口を備えたものであり、これら給水ホース及び注水ホースが、浴室壁面にある係止片に保持されている。この浄水器の内部には、浄水カートリッジまたは活水カートリッジが装入されていて、この浄水カートリッジには、活性炭等の濾過材が充填されており、浄水器本体に導入さ

れた原水を濾過して水道水の異臭や残留塩素、トリハロメタン等の有害物質、鉄錆、ゴム屑、微細な砂、金属片等の異物を除去する機能を発揮できる。また、活水カートリッジに、鉱物碎片が充填して、浄水器本体に導入された原水にミネラルを溶出させる機能をさせている。しかし、この方式では浴室内で、浄水器を設置する専有スペースが必要となる。

【0003】

【考案が解決しようとする課題】

本考案は、専有スペースを必要としないで、健康や美容に良い、活水化した湯・水を放出するようにしたシャワーヘッドを提供する。

【0004】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために、本考案によるシャワーヘッドは、給湯・給水部からのホースに接続されるシャワーヘッドであって、基端側を前記ホースに接続する筒状のグリップと、このグリップの先端側にあるシャワー生成ヘッドと、前記グリップ内に着脱可能に装填されるカートリッジとから構成され、前記カートリッジには、少なくとも、遠赤外線を放射するセラミックスが充填してあって、ホースを介して供給される湯・水がグリップから前記シャワー生成ヘッドに至る過程で、前記カートリッジを通し、前記遠赤外線により水分子を活水化することを特徴とする。前記シャワー生成ヘッドは、前記グリップの先端側で着脱可能に接続される構造であり、この接続個所から前記グリップ内に前記カートリッジを装填するように構成したことを特徴とする。前記カートリッジは、前記グリップ内に直列に配置される複数のカートリッジからなり、少なくとも、一方のカートリッジには、遠赤外線により水分子のクラスターを小さくする活水用セラミックス粒子が、他方のカートリッジには、湯・水に含まれる残留塩素を低減するためのセラミックス粒子が、それぞれ、充填されていることを特徴とする。

【0005】

これにより、シャワーヘッドは、浄活水化のための設備として、特別な専有スペースを必要としないで、健康や美容に良い、活水化した湯・水を放出するものとなる。即ち、遠赤外線を放射するセラミックスをシャワーヘッドの内部に収納

することにより、水道水（井戸水を含む）をセラミックスに接触させて活水化することができるシャワーヘッドとなる。また、シャワーヘッドで活水化された水道水は水分子のクラスターが小さいので、マイナスイオンの放出能が向上する。

【0006】

【考案の実施の形態】

図1は、水道水（井戸水を含む）の配管先端部（給湯・給水部）に直接もしくはホースを介して取り付けられるシャワーヘッド10（第1の実施の形態）の組み立てを示した組み立て説明図であり、図2は、組み立てられたシャワーヘッド10を示すと共に、その内部構造を説明するために、中央から右側を断面図で示した説明図である。図2において、円で示したA部分は拡大して示した。これら図1および図2に示すように、本考案のシャワーヘッド10は、手で握れるように形成したグリップ1と、放水面2aをグリップ1に対して若干傾斜させて設けたシャワー生成ヘッド2とで外装が構成されており、グリップ1およびシャワー生成ヘッド2の内部には、セラミックス（4a、4b）を収容したカートリッジ3を備える。グリップ1およびシャワー生成ヘッド2は、それぞれの接続箇所5が、雌・雄のねじ構造で接続可能に形成され、その接続箇所にはシールパッキング8が装着されている。

【0007】

カートリッジ3は、その前後（水道水の導水口および送出口）が網状に形成されており、また、グリップ1の基端側に設けられた弾性部材6と、シャワー生成ヘッド2に設けられた係合部7との間で挟み込み、接続箇所8で締め付けて設けられている。これにより、ホースを介して供給される湯・水がグリップ1からシャワー生成ヘッド2に至る過程で、カートリッジ3を通過し、カートリッジ3内部に収容されたセラミックス（4a、4b）で活水化される。尚、グリップ1、シャワー生成ヘッド2、カートリッジ3のそれぞれの部材は、透明な合成樹脂で形成され、その内部が透けて見えるように形成されている。カートリッジ3内部に収容されるセラミックス（4a、4b）は、遠赤外線により水分子のクラスターを小さくする活水用セラミックス4a、及び、水道水に含まれる残留塩素を低減するためのセラミックス4bとしてもよく、本実施の形態においては、活水セ

ラミックス 4 a を充填したカートリッジ 3 をグリップ 1 の基端側に装着した。

【0008】

図 3 は、シャワーヘッド 10 から放出される水道水が活水セラミックス 4 a と接触することにより、水道水が活水化されたことを示すものである。このことは、 ^{17}O -NMR 法（酸素原子核の磁気共鳴法）により、水道水および活水化水（活水セラミックス 4 a と接触することにより活水化された水）を比較して水分子集団の大きさを計測することにより確認される。その結果は、図 3 に示すように、水道水における ^{17}O -NMR 線幅（クラスター）が、100 Hz（図中 B で示す）であったのに対し、活水化水は 55 Hz（図中 C で示す）である。このように水分子の集団を小さくすることは、活水用セラミックス 4 a によりなし得た。

【0009】

この実施例に使用された活水セラミックス 4 a は、 SiO_2 、 Al_2O_3 、 Fe_2O_3 、 TiO_2 、 CaO 、 K_2O 、 Na_2O 、 MgO 、 MnO_2 などの無機材料から好適に選択し、焼結して球状に形成されたものである。この活水セラミックス 4 a を利用して、水のクラスターを小さくすることや、水をマイナスイオン水とすることで水道水を活水化する。活水化水の効果を確認するために、シャワーヘッド 10 からの流量を 3.7 L/分で 10 秒間放水させた時のマイナスイオン濃度を計測した。その結果、最高値 10, 130/cc で、ピーク値 9, 580/cc を計測した。これにより、水分子の集団を小さくして活水化した活水化水は、マイナスイオン濃度を増加させることが示される。即ち、マイナスイオン濃度の増加は自律神経を安定化させるので、身体をリラックスさせ、免疫力を高め、自然治癒力を高める等、人体の健康維持に有効な作用を及ぼすことが知られており、その意味で、健康に良いことが理解される。

【0010】

さらに、活水セラミックス 4 a は界面活性力をも向上させる。この実験は、各試料水に 2% 量のサラダ油（オレイン酸のトリグリセライド）を添加し、1 分間攪拌した後、5 分間経過させてから ^1H -NMR スペクトル（水素原子核の磁気共鳴法）を測定し、各試料水中に溶け込んだサラダ油の量を算出し、その結果、

水に溶け込んだサラダ油の量が、普通の水道水で、6. 5 7 m M o lであったのに対し、活水化水では、1 3. 4 7 m M o lとなり、約 2 倍のサラダ油を溶かしたことで確認された。このように、活水化水は界面活性力を向上させるので水道水が肌によく浸透し、洗い上がりがよく、汚れも良く落ち、肌への美容効果が期待できる。また、活水化水は、洗浄能力を向上させる一方、抗菌作用もあり、浴室を清潔に保つ。

【 0 0 1 1 】

図 4 は、給湯・給水部にジョイント部材を介して接続される第 2 の実施の形態におけるシャワーヘッド 1 0 を示したものであり、(a) は平面図、(b) は正面図である。これら (a) 、(b) に示すように、シャワーヘッド 1 0 には、少なくとも活水セラミックス 4 a を充填したカートリッジ 3 が、シャワー生成ヘッド 2 内に設けられ、シャワーヘッド 1 0 の放水面 2 a の外周にはゴム製の放水ノズル 2 b を突出させて設け、放水面 2 a の内周には部分的に放水孔 2 c が設けられている。これにより、第 1 の実施の形態と同様に、湯・水が活水セラミックス 4 a で活水化される。

【 0 0 1 2 】

図 5 は、図 4 のシャワーヘッド 1 0 を取り付ける取付具 1 2 を示したものである。図 5 の (a) は、その組み立てを説明する説明図であり、図 5 の (b) はシャワー生成ヘッド 2 に取り付けられた状態を示した説明図である。これら (a) 、(b) に示すように、取付具 1 2 は、湯・水を通過させる孔 1 2 b を設けた球状の球状体 1 2 a と、ジョイント部材とネジで羅合される筒状のネジ部 1 2 c とが一体成形されたものであり、シャワー生成ヘッド 2 側の導水口に、球状体 1 2 a の一部を挿入し、ジョイント部材とシャワーヘッド 1 0 との間で、リング 1 3 により締結されて装着される。これにより、この取付具 1 2 は、給湯・給水部からの湯・水（図中矢印 D で示す）をシャワー生成ヘッド 2 に送り込むと同時に、シャワーヘッド 1 0 の傾斜角度を手で自在に変えられるものである。

【 0 0 1 3 】

図 6 は、給湯・給水部にジョイント部材を介して接続される第 3 の実施の形態におけるシャワーヘッド 1 0 を示したものであり、(a) は組立説明図、(b)

は平面図、(c)は正面図である。この実施の形態におけるシャワーヘッド10は、活水セラミックス4aを収めたカートリッジ3を被うキャップ15を設けて形成したものであるが、カートリッジ3は、シャワー生成ヘッド2から突出させて装着する。これにより、シャワー生成ヘッド2内に設けたカートリッジ3から直接放水されているかのように構成する。即ち、シャワー生成ヘッド2には、カートリッジ3を被うキャップ15を羅合させて放水面2aを形成するが、キャップ15とカートリッジ3との隙間をできるだけ狭めて、活水化した湯・水が放水できるようにしたものである。

【0014】

図7および図8は、給湯・給水部にホースを介して接続される第4、5の実施の形態におけるシャワーヘッド10を示したものであり、それぞれ、(a)は平面図、(b)は側面図である。この第4、5の実施の形態におけるシャワーヘッド10は、赤外線により水分子を活水化する活水セラミックスが収められ、さらに、操作レバー14もしくは操作回転レバー14aを設け、操作レバー14もしくは操作回転レバー14aで、シャワー生成ヘッドの前方の外周壁を回転させて湯・水の放水量を多段式に切替えるものである。

【0015】

放水面から放水される放水の状態は、複数の放水ノズル2bおよび放水孔2cから、細い線状にして放水する段階と、放水の状態を霧状にする段階とが切り替えられるようになっている。細い線状にして放水する際には、放水ノズル2bおよび放水孔2cの基部に網を被せ、その網を通すことにより実施できる。一方、霧状に噴霧する場合は、噴霧ノズルを、放水ノズル2bもしくは放水孔2cに取付け水微粒子を噴出させる。このように、放水される湯・水をできるだけ細かな微粒子とした場合には、空気中にマイナスイオンを発生させるので人体の健康に役立つものとなる。さらに、シャワーヘッド10の内部には、赤外線により水分子を活水化する活水セラミックスが収められているので、空気中に多量のマイナスイオンを発生させる効果が向上する。

【0016】

【考案の効果】

本考案は、上述したように構成されているので、水道水を活水セラミックスに接触させて活水化することができるシャワーヘッドとなる。即ち、シャワーヘッド自体が健康や美容に良い、活水化した湯・水を放出するものとなる。

このことは、活水セラミックスをシャワーヘッドの内部に収納することにより達成され、外部に活水化するための専有スペースを必要としない。

水分子のクラスターを小さくして活水化した場合、シャワーヘッドから放出された水道水は、マイナスイオンの放出能が向上したものとなる。また、シャワーヘッドは、界面活性力を向上させる活水化水を放出するので、肌によく浸透し、洗い上がりがよく汚れも良く落ちるものとなる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

第 1 の実施の形態におけるシャワーヘッドの組み立て説明図である。

【図 2】

シャワーヘッドの外装を示すと共に、その内部構造を説明する説明図である。

【図 3】

水道水および活水化水のクラスターを対比して示したスペクトル図である。

【図 4】

第 2 の実施の形態におけるシャワーヘッドを示したものであり、(a) は平面図、(b) は正面図である。

【図 5】

シャワーヘッドを取り付ける取付具を示したものであり、(a) は組み立て説明図、(b) は使用状態を示した説明図である。

【図 6】

第 3 の実施の形態におけるシャワーヘッドを示したものであり、(a) は組立説明図、(b) は平面図、(c) は正面図である。

【図 7】

第 4 の実施の形態におけるシャワーヘッドを示したものであり、(a) は平面図、(b) は側面図である。

【図 8】

第 5 の実施の形態におけるシャワーヘッドを示したものであり、（a）は平面図、（b）は側面図である。

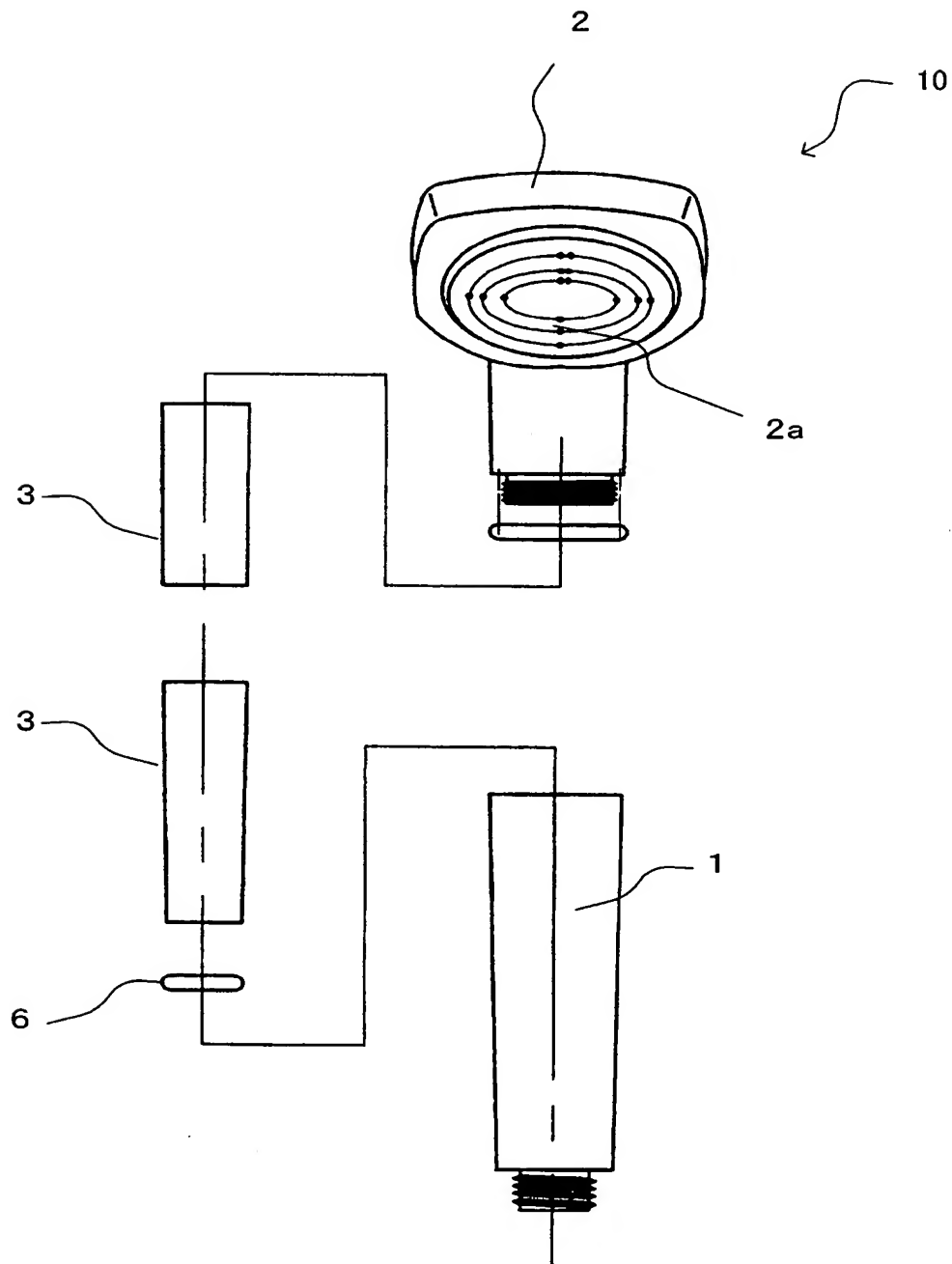
【符号の説明】

- 1 グリップ
- 2 シャワー生成ヘッド
- 2 a 放水面
- 2 b 放水ノズル
- 2 c、2 d 放水孔
- 3 カートリッジ
- 4 a 活水セラミックス
- 4 b 塩素を低減するセラミックス
- 5 接続箇所
- 6 弾性部材
- 7 係合部
- 8 シールパッキング
- 1 0 シャワーヘッド
- 1 2 取付具
- 1 2 a 球状体
- 1 2 b 孔
- 1 2 c ネジ部
- 1 3 リング
- 1 4 操作レバー
- 1 4 a 操作回転レバー
- 1 5 キャップ
- 1 6 ネジ切り部
- A 拡大部分を示す
- B 水道水のスペクトル
- C 活水化水のスペクトル
- D 湯・水（流路）

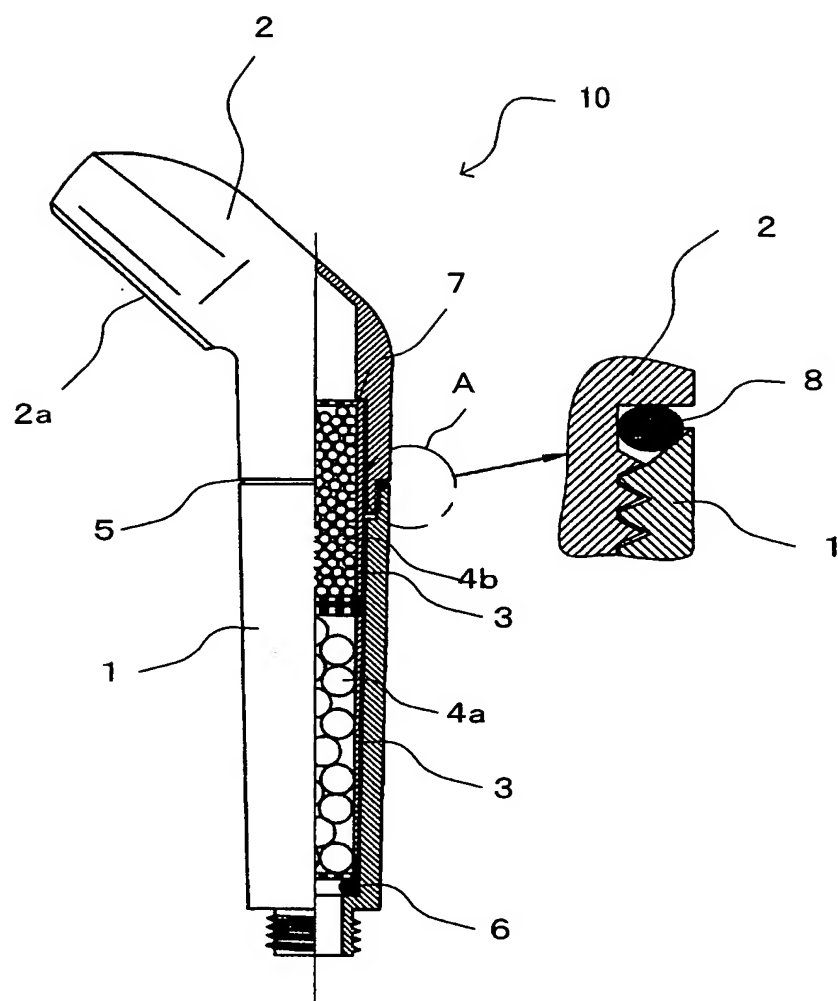
【書類名】

図面

【図 1】

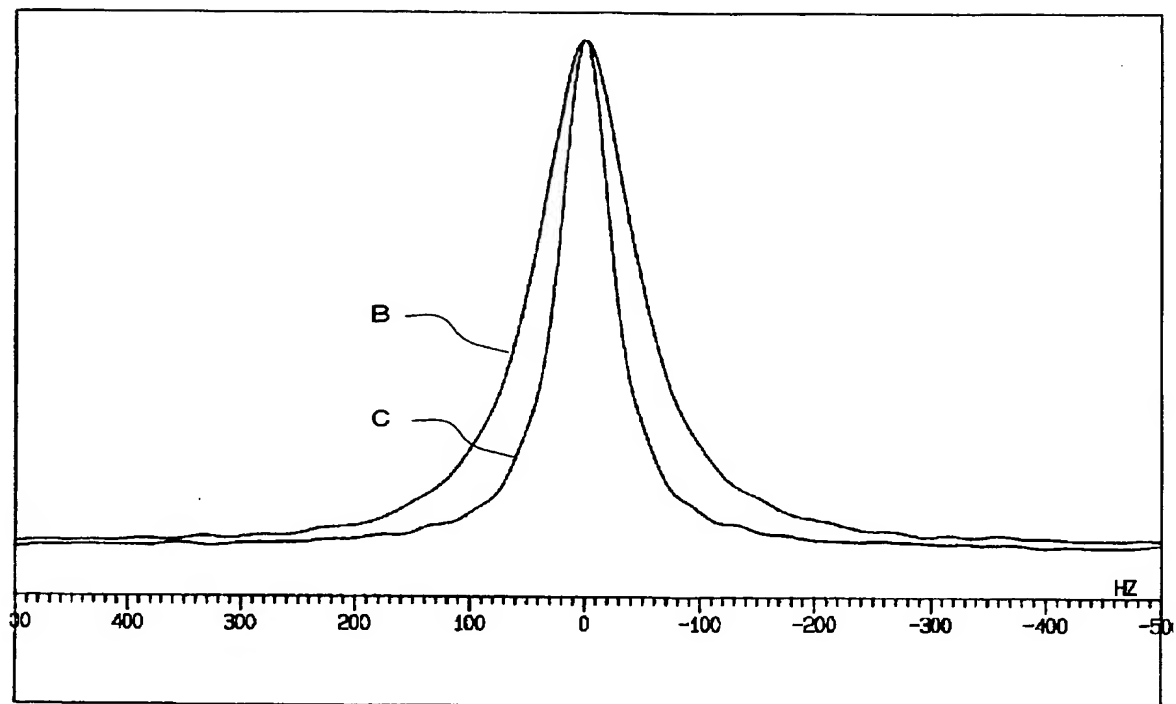


【図 2】



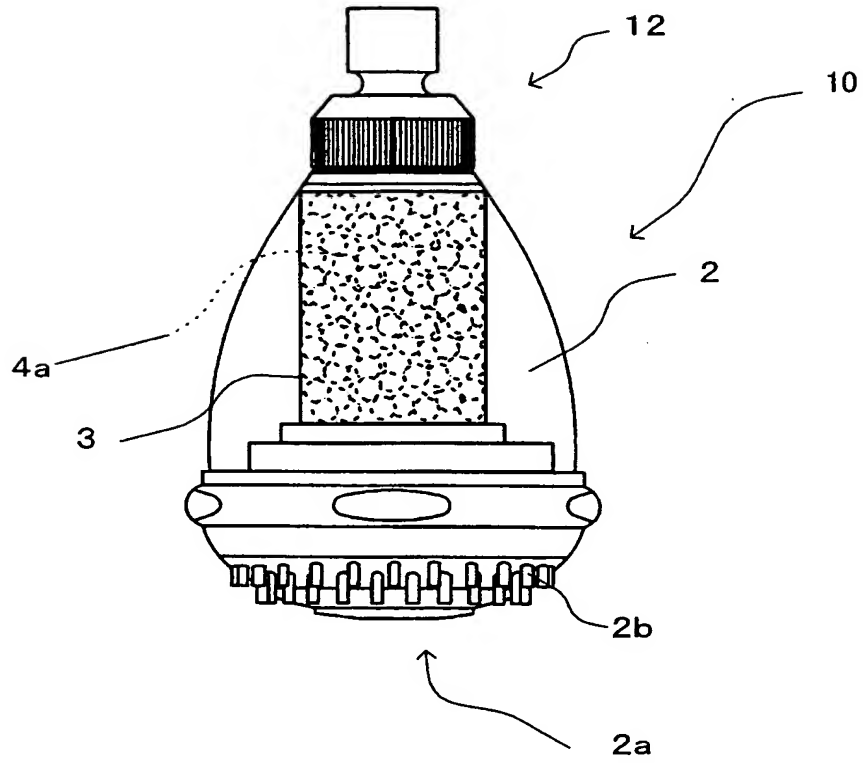
【図 3】

^{17}O -NMR スペクトル

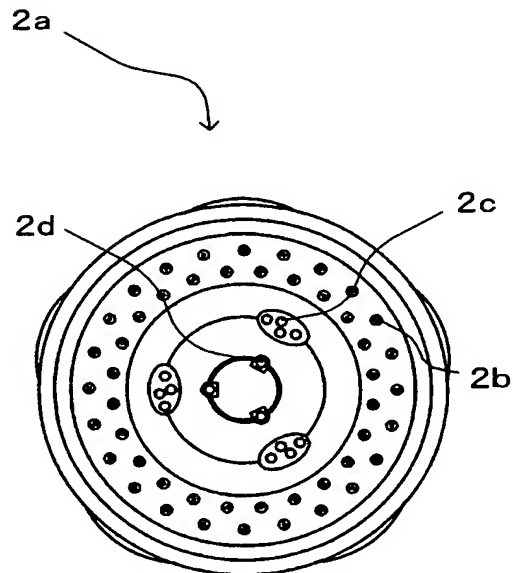


【図 4】

(a)

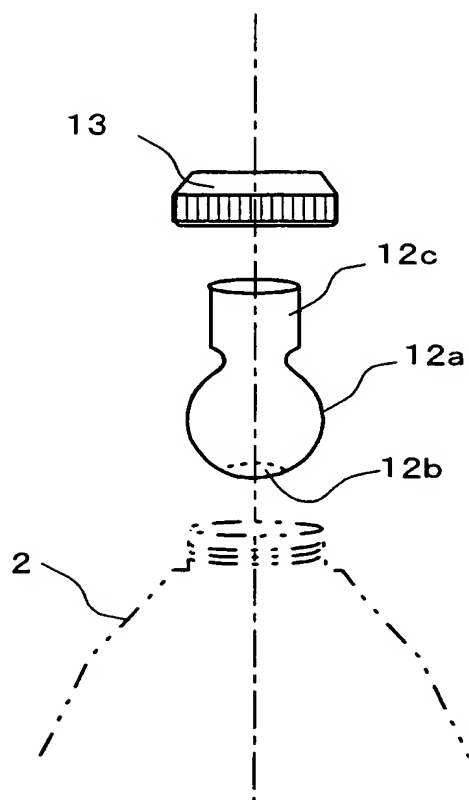


(b)

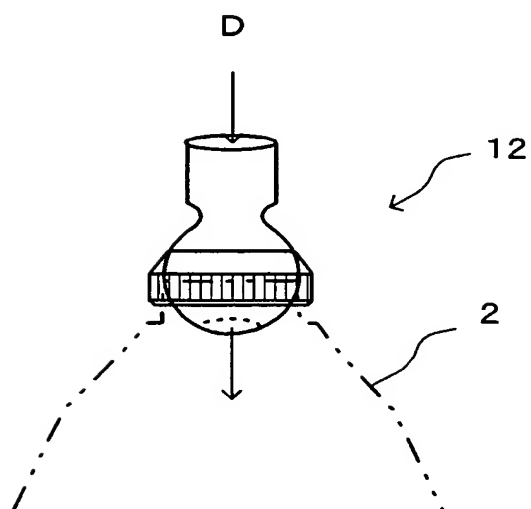


【図 5】

(a)

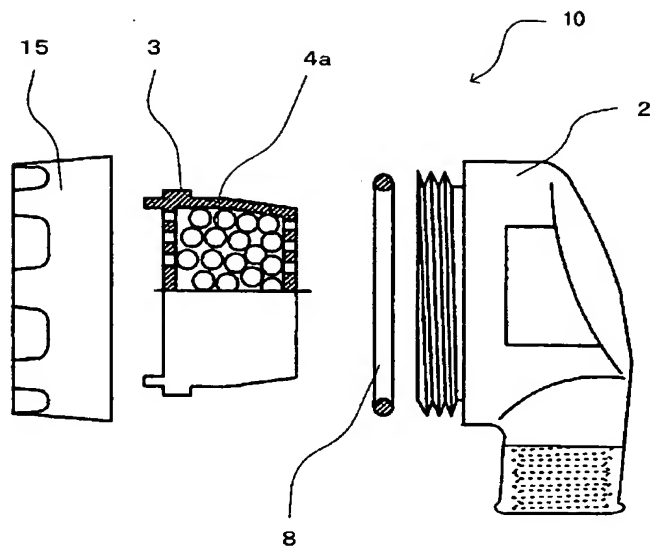


(b)

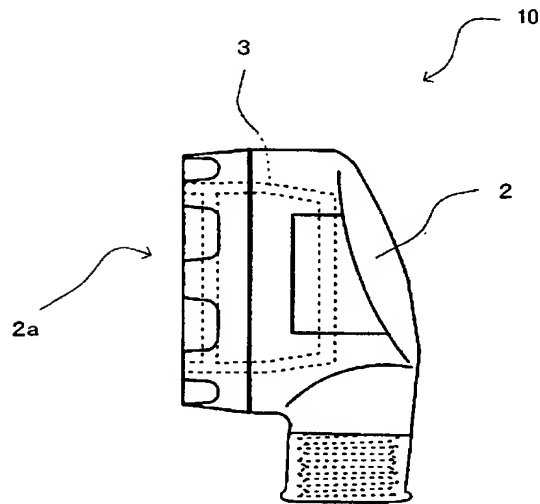


【図 6】

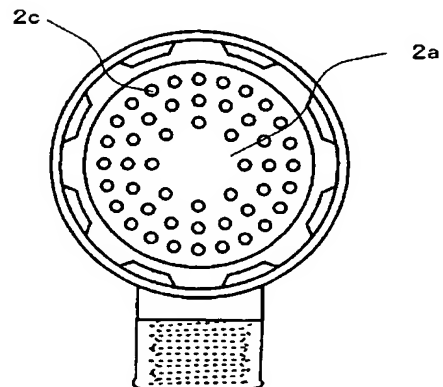
(a)



(b)

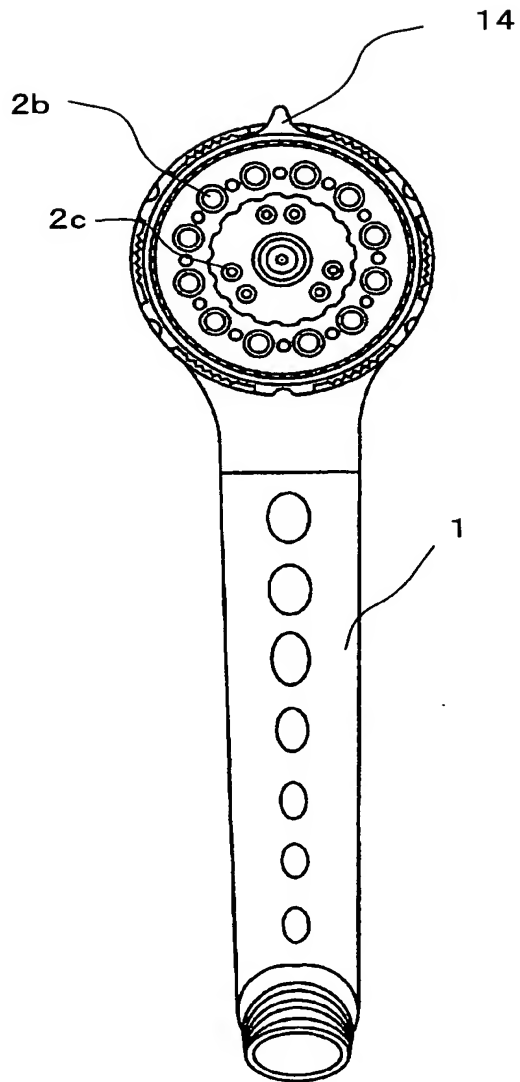


(c)

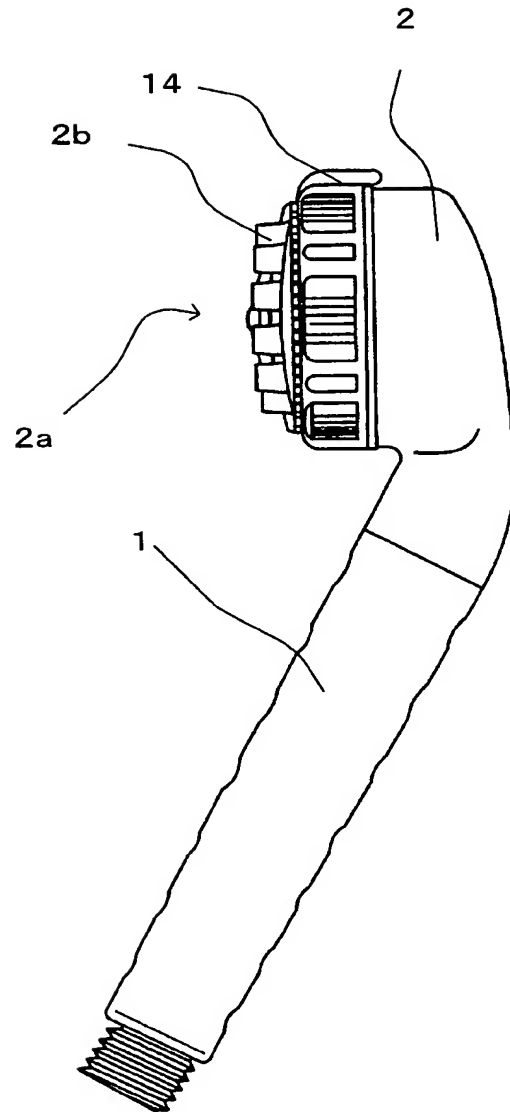


【図 7】

(a)

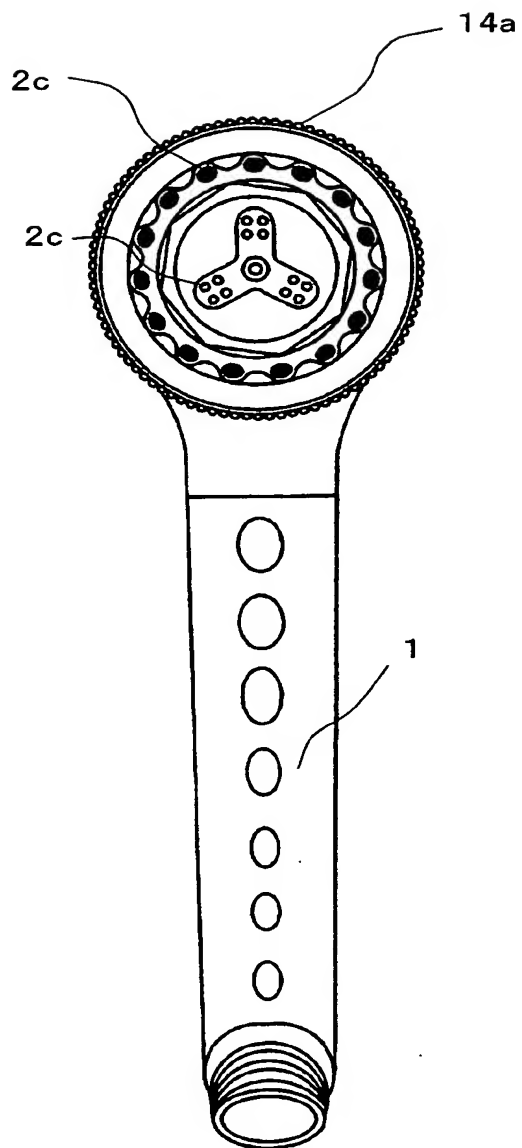


(b)

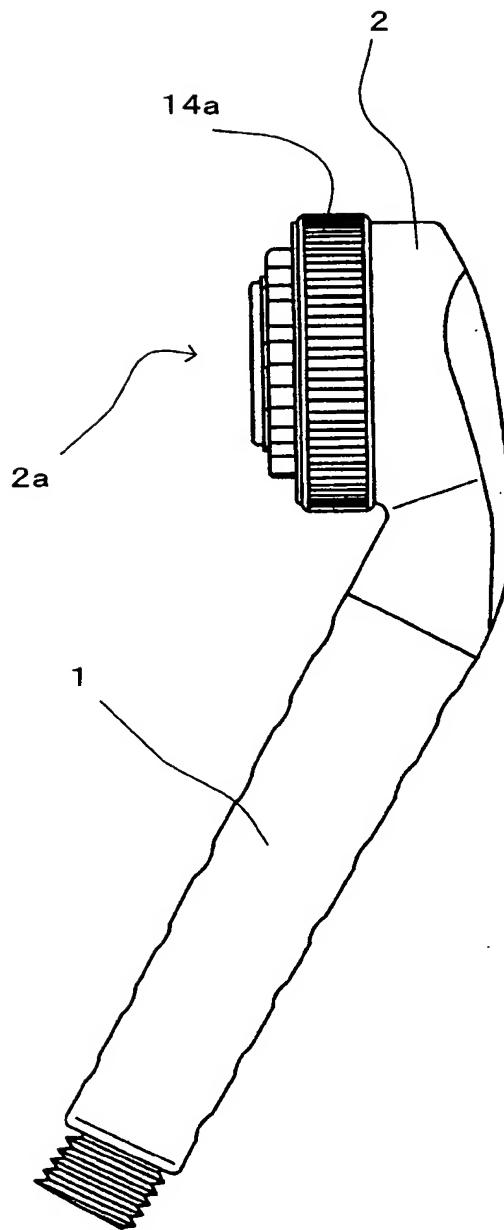


【図8】

(a)



(b)



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 専有スペースを必要としないで、健康や美容に良い、活水化した湯・水を放出するシャワーヘッドを提供する。

【解決手段】 本考案のシャワーヘッドは、給湯・給水部からのホースに接続されるシャワーヘッドであって、基端側をジョイント部材もしくはホースに接続する筒状のグリップと、このグリップの先端側にあるシャワー生成ヘッドと、グリップ内に着脱可能に装填されるカートリッジとから構成され、カートリッジには、少なくとも、遠赤外線を放射するセラミックスが充填してあって、ジョイント部材もしくはホースを介して供給される湯・水がグリップからシャワー生成ヘッドに至る過程で、カートリッジを通し、遠赤外線により水分子を活水化する。

【選択図】 図2

認定・付加情報

実用新案登録出願の番号	実願 2 0 0 3 - 0 0 3 9 0 9
受付番号	5 0 3 0 1 0 9 3 5 6 3
書類名	実用新案登録願
担当官	第九担当上席 0 0 9 8
作成日	平成 1 5 年 8 月 5 日

< 認定情報・付加情報 >

【提出日】 平成15年 6月30日

実願 2 0 0 3 - 0 0 3 9 0 9

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[3 0 2 0 1 2 6 8 2]

1. 変更年月日

2 0 0 2 年 2 月 2 7 日

[変更理由]

新規登録

住 所

東京都千代田区麹町 1 丁目 5 番 4 - 3 1 0 号

氏 名

宰成光株式会社